

スーパーマーケットトレードショー 2012 に出展しました！

2012年2月1日(水)～2月3日(金)・東京ビッグサイト

JELFAの新しい取組みである「JELFA CS 認証プログラム」を広く認知していただき、参加者を募る目的で、スーパーマーケットのバイヤーが多く来場するこの展示会に出展致しました。ブースにはスーパーやホームセンターの方々、ブーケメーカーの方などが来られました。

ブース全体



花元気 CS 認証プログラムは消費者のための認証プログラムです。花元気認証を受けたブーケメーカーを認証しています。認証を受けたブーケメーカーは、品質を高め、新鮮なブーケメーカーと一緒に活動してまいります。



花売場 A



花売場 B



花売場 C

株式会社インパック様からご協力をいただき、什器を3タイプお借りしました。什器のタイプ別に模擬的な花売場 A・B・C を展開しました。



スリーブ用シール

ブーケにはそれぞれ「花元気」シールを貼りました。



鮮度保持剤の展示

CS 認証プログラムに認定されたブーケには小袋が付きまます。これらが切花販売には欠かせないアイテムであることを紹介しましたが、食品関連業者をメインとするこのトレードショーでは、切花用鮮度保持剤の存在自体をご存知でない方も多くいらっしゃいました。

スーパーマーケットトレードショー 2012 にご協力いただいた各社

- *ブーケ：有限会社ライスカわはら
- *ブーケ用鮮度保持剤：フジ日本精糖株式会社
- *什器：インパック株式会社
- *鮮度保持剤サンプル：
 - 大塚アグリテクノ株式会社
 - クリザール・ジャパン株式会社
 - スミザースオアシス ジャパン株式会社
 - パレス化学株式会社
 - フジ日本精糖株式会社 (順不同)

パンフレットを配布しました！



花売場全体の品質を底上げできるよう、鮮度保持の必要性とこのプログラムへのご参加を呼びかけました。今後も引き続き、このプログラムへの参加者を募集していく予定です。

Column

鈴木のり子さんのオランダ便り

2

春のチューリップバケツ

春を告げる球根花、チューリップ。オランダを象徴する花に使うバケツは、通常流通しているものとは形が違い、底部が狭く上部が緩やかに開いているのが特徴です。全ての規格に統一感を持たせたいオランダ人にしては、バケツのデザインに違和感を持たないのかな？と思ったりもしますが、このバケツを見たらチューリップ、と反射的に思ってしまうくらい、すっかり春の景色に溶け込んでいます。

このバケツは、チューリップだけでなく、スイセンなどの背丈の低い球根花にも使われています。そのせいか、お日様が届かない市場の中で、どっしりとシンプルなおバケツの大群を見かけると、ああ春が来たんだなあ、とそこだけがぽっと暖かくなっていくように感じます。

1月。チューリップが出回り始める年の初めは、珍しさに一束(10本)買う程度ですが、2月中旬頃から品種も色もどんどん増え、価格も手ごろになってきます。週末の露店販売は大胆で、そのうちバケツの半量にあたる50本の大人買いしかさせてくれないところも出てきます。その安さと量に惹かれ、バケツに入れられたままのチューリップは文字通り飛びように売れていきます。

4月。球根畑のチューリップが色づき始めます。青空に映える色とりどりのチューリップの絨毯はうっとりするほど美しく、誰もが花畑めぐりで大忙し。そんな夢の景色を追いかけている間に、店頭の切り花チューリップはすずつ影を潜めていきます。そして、あれ？あのバケツを見かけなくなったな、と思う頃は、もう新緑が眩しい季節。こうしてオランダの春は終わるのです。

ちなみに、オランダの市場では年間約17億本のチューリップを扱っています。季節限定商品ながら、年間売上高ではバラ、スプレーマムに次いで第3位の地位を占めており、生産国オランダはもちろん、ドイツ、フランス、イギリスを筆頭に、100カ国以上の国々へ輸出され、親しまれています。



バケツひとつに50本の束を2束入れると、チューリップがしゃきっと立って、色づいた花弁が行儀良く並びます。



パレット咲きのチューリップは、高値で取引される品種。球根を育てるために下葉を残して出荷します。

★次号 4/5月号は JELFA セミナー 2012 の情報を中心にお届けする予定です。

※回覧してください。なお、各部署や個人宛など社内の複数発送も賜ります。ご連絡ください。



JELFA のホームページ

セミナーの報告など様々な情報を公開しています。

<http://www.jelfa.net>

発行：特定非営利活動法人 日本 ELF システム協会

編集：JELFA 事務局

東京都大田区東海2-2-1 大田市場花き部 F A J 内新館4階

TEL/FAX 03-3799-5817

E-mail jelfa2002@jelfa.net

郵送先 〒143-8721 大田市場内郵便局 私書箱39号



JELFA 会員の皆様にお届けする最新ニュースです。

Topics

- ・～視察レポート～「JA みなべいなみ」の取り組みのご紹介2-3P
- ・スーパーマーケットトレードショー 2012 に出展しました4P
- ・鈴木の子さんのオランダ便り4P



当社仙花は ELF システムが導入されたと同時に取り扱いを始めて 10 年が経ちました。

その間、仙台市場でも ELF システムの普及は急速に進みました。花の流通品質が問われる中、判りやすい「鮮度保持」手法、生産、物流コスト削減への提案があり、とくに鮮度と日持ち要求が強いバラ、トルコキキョウなどは 100%近い普及率となりました。事実産地の皆さんにお聞きするところ、切る、調整する、出荷段取りなどの作業が合理化軽減され、生産面でのメリットが大きいとまさに評価大なるものがあります。しかし一方、キク類のように大量に流通されているものやユリのように咲き足の速いものなど作業性や物流面で敬遠されており、普及の壁となっております。

ジェルファ コラム column

ELF システムの課題

株式会社仙花

代表取締役社長 谷井 迪郎

また残念ながら、近年の国内産地の燃油経費増大圧力による経営縮小による生産減少の影響も急速に進んでおり、バラなどではバケツそのものの利用数の減少傾向さえ出現しているのも事実です。

いま、花き業界は人口減少社会の中で消費人口の減少と向き合わねばならない状況となっております。先日発表された昨年の全国の中央市場取り扱い減少額 -7% は 127 億円に達し、まさに東北地域の花の消費の過半が消滅したような金額でもあります。東日本大震災の影響があるとはいえ大変な時代を迎えております。

その中で、ELF システムは現在年間流通量 400 万バケツということであり、本数換算では概ね 2 億本でしょうか。花き流通の全体量が一昨年 57 億本であることを考えると、流通シェアは 4% 程度ではないでしょうか。市場内には湿式縦箱が ELF 数量に匹敵するほど流通している現状もあります。ELF 利用産地が関東・東北に偏りがある、品目別に普及に極端な差があるなど、この現

状をこれからどのように整理・進化させられるかが問われているようであり、そろそろ再スタートの動きが必要になっているようでもあります。ちなみに仙台市場での ELF バケツの流通量は年間約 20 万バケツ (回収換算)、1200 万本となっております。全体の取り扱い本数の 9.2% 程度です。

ここ 10 年来の花き加工流通チャンネルの拡大と末端販売価格の低下は、量販店やホームセンターを中心に顧客層の拡大で一定の成果を得たと思われませんが、一方街の花屋の店頭からの顧客流出をまねき長短相半ばの状況や、単価安の影響が大きく業界疲弊の一因ではないかとも思われます。業界全体としての花育事業やフラワーパレンタインのような事例はあるものの、統一した消費宣伝事業が停滞している、など課題山積の様相の中、ELF システム加盟市場 52 社と共に ELF バケツを活用し、花き使用文化の維持と普及拡大のためにも地道に一端を担い、推進しなければと思うこの頃であります。

Customer Satisfaction

JELFA 花元気 CS 認証プログラム

認証を取得したいブーケメーカーさんを引き続き募集しています！



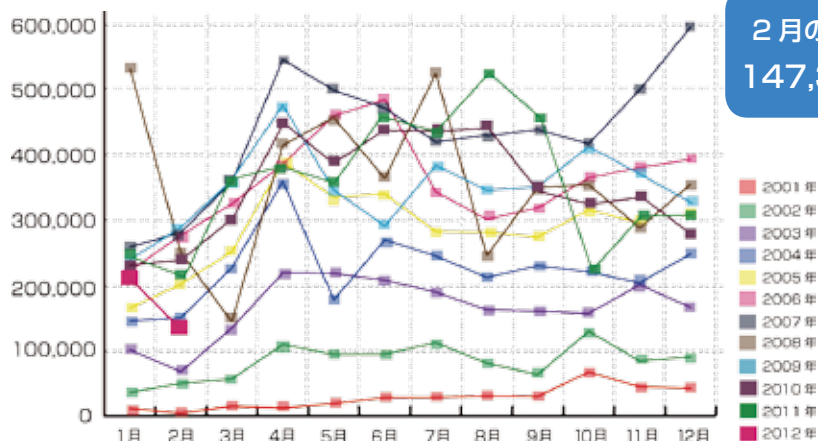
花元気

花元気のロゴ

詳しくは JELFA 事務局にお問い合わせください！

ELF バケツ流通量のご報告 2012年2月末現在

★月間流通量



総計流通量 36,222,798 (2001年から2012年2月末まで)

★ ELF バケツ出荷について

- 当時の JA 和歌山いなみが 2001 年からバケツ出荷を検討。背景には市場が日持ちの良いかすみ草を求め始めたことや、かすみ草の産地を守りたいと願う生産者の思いがあった。また花の品質を考える上で「前処理の徹底」が必要となり始めたことがある。採花手順・前処理方法などを見直し、マニュアル化する。また ELF バケツの導入へ向けた取り組みがスタート。
- 2002 年、バケツ出荷研究会を立ち上げる。現在の兵庫県生花株式会社と試験出荷や販売を開始。同時に ELF バケツシステムに関する研究を続ける。
- 同年 11 月 JELFA に入会（「JA 和歌山いなみ」として）。ELF バケツでの本格出荷をスタート。
- 2003 年、「第 3 回全国カスミソウサミット」の主催地になり、「バケツ出荷研究会」から「花のための生産流通システム研究会」に組織体を変更し、さらに検討を進める。ELF バケツ出荷を進めると同時に、その後は環境にも人にもやさしい取り組みに力を入れています。

★ JA みなべいなみ花き部会の現在

- 花き部会員数 112 名（2012 年 2 月現在）。そのうち 54 名が ELF バケツを使用。
- 花き部門の売上は年間約 8 億円。内約 5 億円がスターチス。JA みなべいなみの販売物全てで年間約 52 億円の売上。
- ELF バケツでの出荷品目はスターチス、かすみ草、カーネーション、その他草花（金魚草、ダリア、ラークスパー、ブルーレース、スカビオサ、デルフィニウム、ストック、チョコレートコスモス、セネシオ、ヒマワリ）、千両などである。
- 平均年齢は切花全体で 57 歳。若い就農者が増えており、洋花を中心とした生産者の平均年齢は 40 代である。
- 出荷期間は毎年 10 月頃～翌年 6 月頃まで。



花き部会 部会長の木村良材さん

★ ELF バケツ出荷 ～スターチス編～

生産者それぞれの選花場に合わせた出荷までの段取りがあると思いますが、1つの例としてバケツによるスターチスの出荷を取材しました。



1. 採花。1本1本丁寧に採花します。



2. まずスリーブをバケツの下からセットします。



3. スリーブを一定数セット後、空のバケツに鮮度保持剤を入れます。



4. 水道水をホースで入れ分量と秒数でカウントし



6. 結束後バケツに入れ、下からスリーブを被せます。



7. ハーフ台車に乗せ、完成です。



今年は JELFA が発足して 10 年という節目の年になります。発足当初から ELF バケット出荷に積極的に取り組まれている JA みなべいなみを訪問し、出荷の様子や ELF バケットに纏わるお話を、花き部会部会長の木村良材さん、いなみセンター長の平貴志さんに伺ってきました。

★ ELF バケットを使用するメリット

- 当然のことながら鮮度が良くなり、品質が上がる。また花首が曲がらないなど荷傷みの防止になる。
- 省力化できる（箱詰め作業がなくなる）。また生産者がそれぞれの作業場での効率化を考えるようになった。
- ゴミを出さないため、環境に配慮した出荷ができる。
- 花が見えることで「良い花を出荷せねば」という生産者の意識が高まる。またそれが一つの目標となりモチベーションが上がる。
- 花によって開花調整ができる。
- お客様での作業が軽減できる。
- 台車を使用することで、段ボール出荷に比べ花に対する衝撃が少なく、荷痛みが少ない。

★ ELF バケットを使用するデメリット

- 経費がかかる（段ボールに比べ出荷単位が少ない）。
 - 運送に空間スペースを取る（経費がかかる要因の一つでもある）。
 - 運送者が限定される（ELF 専用の冷房車が必要）。
 - 時期により水の吸収量が変わるため、水分調整が必要となる*
 - 花の種類により高温多湿時には水蒸れを起こすことがある*
- (*印については業界内でのコールドチェーン化の徹底が必要)



JA みなべいなみ花き部会の方針の中でも特徴的なことは、この ELF バケットシステムを生産者に「強制しない」ということが挙げられる。平さん曰く“ELF バケットシステムを導入するかどうかは「バスに乗る」と似ている。乗りたい人が乗り、途中で降りたければそれは自由に降りても良い。ただし、バスは 1 つの目的地に向かって走り続けているのです。同じ方向性を持ったものが、共同体となりこの取り組みを続けているのです”。

★花センターにて

取材をさせていただいた時間帯には生産者からかすみ草が集荷され、次々と入荷のチェックを受けていました。これらはこの後、開花調整室に入ります。



荷受け後、開花調整室では約 24 時間開花処理をします。花の状態や出荷先に合わせ、温度・湿度・照度の細かい調整をかけます。エンドユーザーの使用用途に合わせることもあります。



JA みなべいなみの目指す「花・人・環境にやさしい取り組み」は、それぞれの生産者に浸透しており、個々の意識が高く非常に前向きで実践が伴っています。昨年は台風による被害も甚大でしたが、これからも活動的な共同体として ELF バケットによる出荷を続けて欲しいと思います。取材にご協力いただき、ありがとうございました。

て、部会長木村さんが普段行っている、ELF



れます。水量は経験による目、入れていきます。

5. 結束します。



このハーフ台車はレンタルで兼弥産業株式会社から借りており、スペースの問題を解消、移動も楽で花痛みを防ぎ、何よりも選花場での作業効率をアップさせています。限られた場所でどう効率化させるか、ということをお互いが考えるきっかけともなっており、生産者には好評です。御興味のある方は兼弥産業株式会社 ELF バケット事業部 (Tel : 0569-65-1256, 担当 : 青山兼人) までお問い合わせください。